

本日はワークショップへのご参加ありがとうございます

ご参加いただくにあたり以下のことに留意してください。

- ①入室の際は【学年・名前・所属・都道府県】を入力してください。 例) 2年 河口 附属坂出小 香川県
- ②マイクはOFFにしてください。
(ビデオONだと嬉しいです！)
- ③録音・録画はご遠慮ください。
- ④チャットを使ってご意見・ご質問を受け付けます。
- ⑤飲食はご自由にどうぞ♪

※資料はチャット欄に添付しています

自ら学びを進める子供って？ はじめてみよう！ 自己調整学習

—よくある疑問から考える、自己調整学習の授業づくり—

香川大学 教育学部

岡田 涼 先生

香川大学教育学部附属坂出小学校 研究部

岡根 平

井下 修一

藤川 裕人

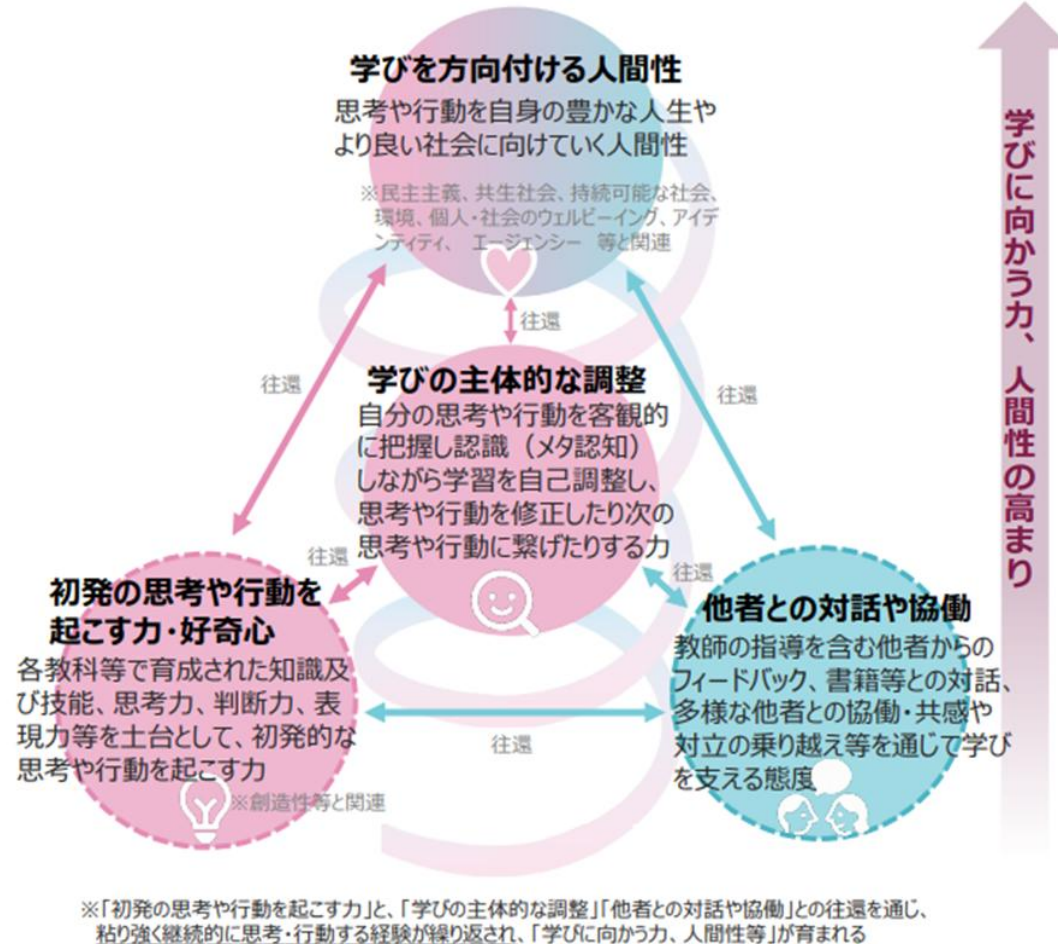
本日の流れ

- ① 自己調整学習って何？子供に任せればよいの？
- ② 自己調整学習を進めるには、
教師は何をすればいいの？
- ③ 自己調整学習って一人で進める学習なの？
- ④ Q&A

【今後の整理イメージ】

**変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、
社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む**

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれる。



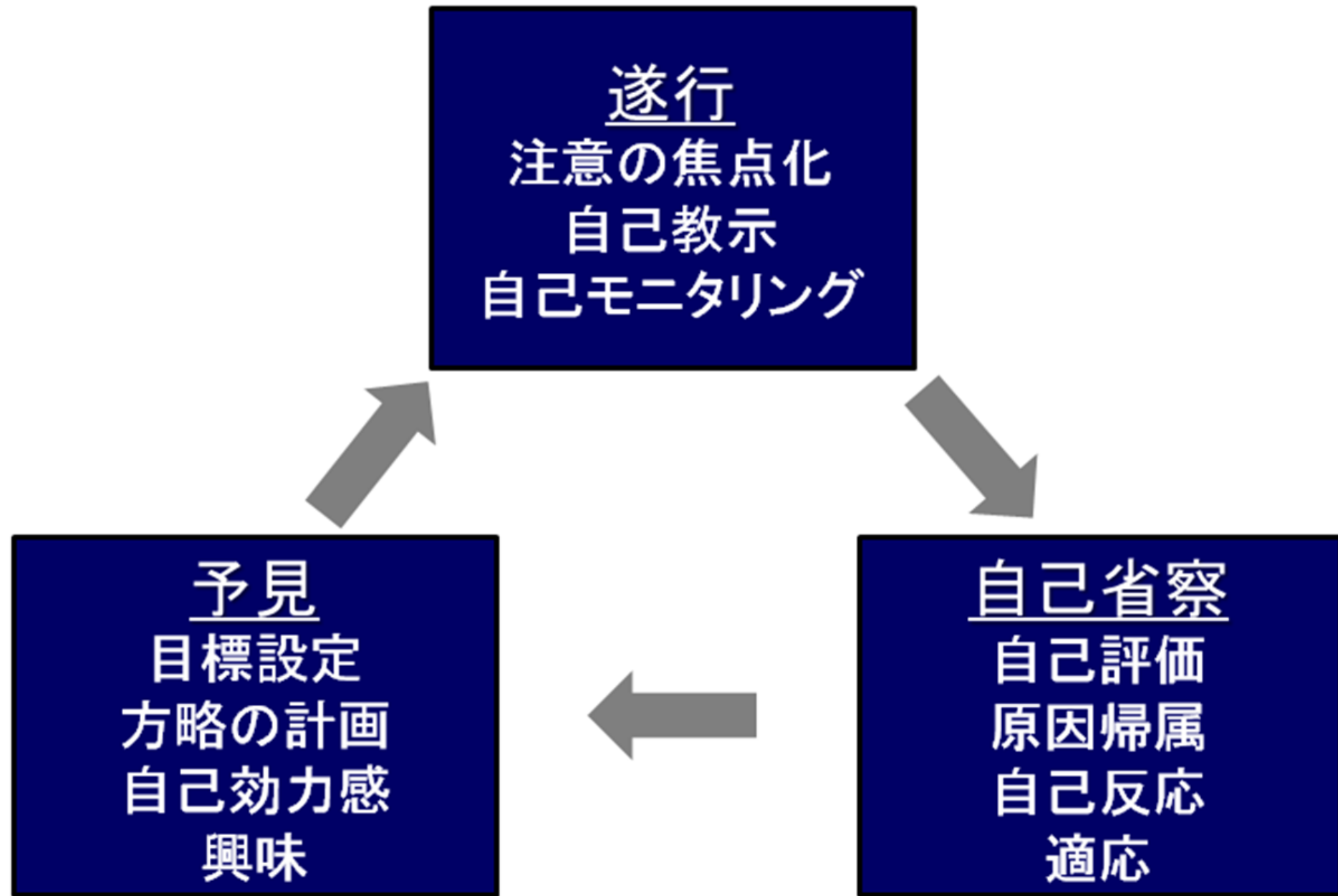
①自己調整学習って何？

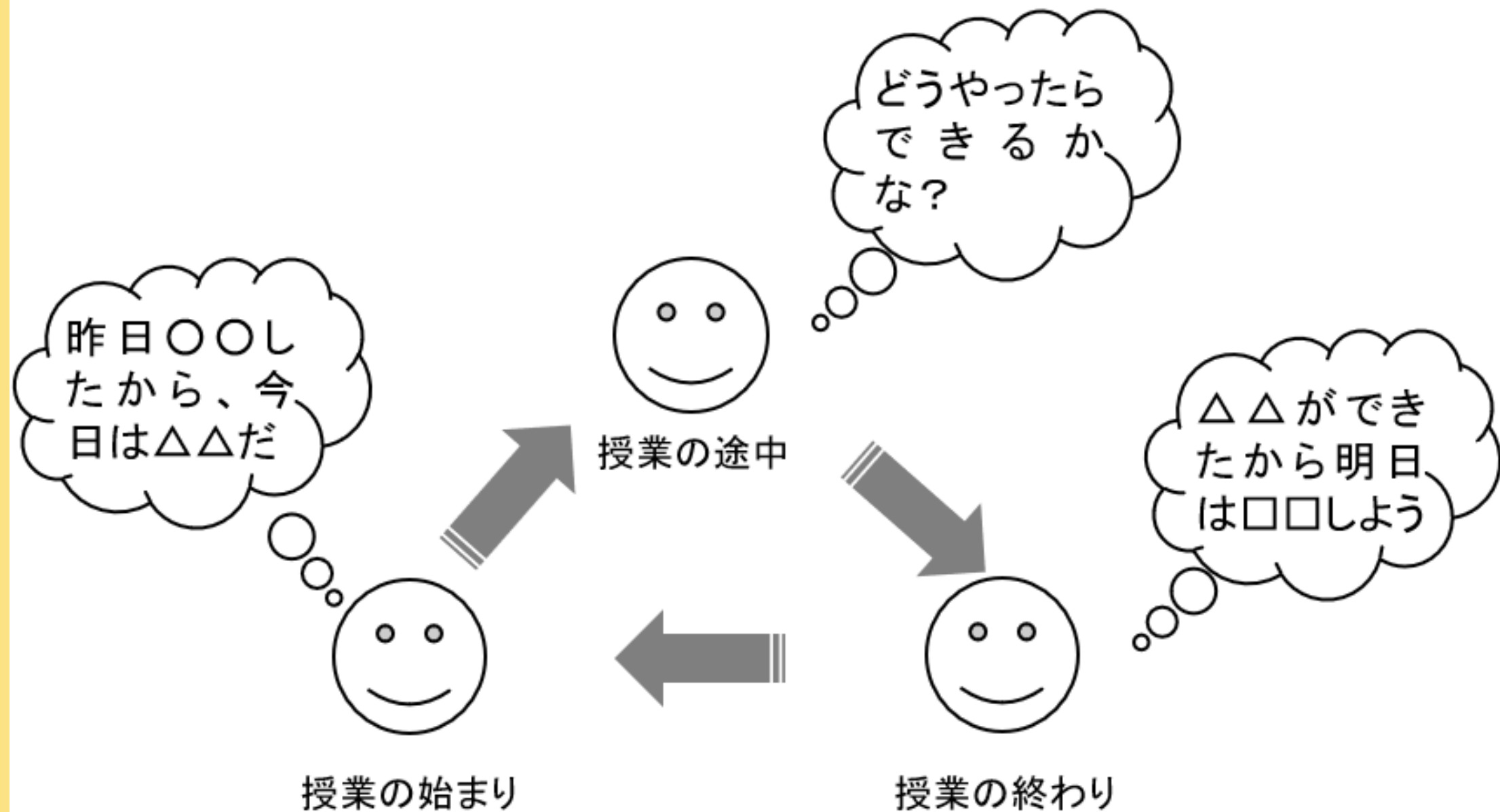
自分なりに試行錯誤しながら、サイクルとして学習を進めていくような主体的な学習。

「学習者が、メタ認知、動機づけ、行動において、自分自身の学習過程に能動的に関与していること」(Zimmerman, 1989)

ー学習のサイクルを自らまわす

ー学習のサイクルを要素(動機づけ、メタ認知、学習方略)





学習の進め方

これから、ステップ①→②→③の流れで学習を進めていきます。

どのステップでも周りの人と交流することで考えが深まります。

生活を見つめ、発見した課題を自分らしく解決していきましょう。

②行動

課題解決・実践活動

ステップ

2

- 計画しよう・実践しよう
- ・考えよう、できるようにしよう
- ・課題を解決しよう

①見通し

課題発見

ステップ

1

- 見つめよう
- ・課題を見つけよう
- ・学習の見通しを持とう

③ふりかえり

評価・改善

ステップ

3

- 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう
- ・活動をふり返し、改善しよう
- ・新しい課題を見つけよう

①
見通し



②
行動



③
ふりかえり



自己調整学習

```
graph TD; A[自己調整学習] --> B[動機づけ]; A --> C[学習方略]; A --> D[メタ認知];
```

動機づけ

興味や自信
をもって取り
組んでいる

学習方略

方法を工夫
しながら取り
組んでいる

メタ認知

学びの過程
に目を向け
ながら取り組
んでいる

①自己調整学習って何？

ようにするに...

自己調整的に学んでいる姿 (≡主体的に学んでいる姿)

- ▶ 学習内容に興味や自信をもって
- ▶ 学びの方法を工夫し
- ▶ 学びの過程に目を向けながら

自分で学習のサイクルをまわす

①自己調整学習って何？

なぜ自己調整？

- 知識や学習に対する見方の転換
- 内容だけでなく方法への意識
- 自己調整の効果に関する学術的な知見

①自己調整学習って何？

小さい／大きい自己調整

▶小さい自己調整

e.g., 漢字の学習、ヒントカード

▶大きい自己調整

e.g., 自由進度学習、総合

共に学びを進め合う子供の育成（2年次）

～共調整を促し、自己調整する方法の習得を目指す授業づくり～

目指す子供の姿の実現に向け、黄色枠の手立てを行っています

本研究における子供が「共調整」している姿

観察・被観察



援助要請・提供



評価・被評価



共調整を促す手立て



他者と関わる必要感を生む



互いの考えを可視化する



関わりやすい環境を整える



関わるよさを感じられるようにする



他者と関わりながら、共に学びを進めていく（共調整）

振り返り

課題設定

解決の見通し

解決

振り返り

課題設定

振り返り

課題設定

解決の見通し

解決

振り返り

課題設定

振り返り

課題設定

解決の見通し

解決

振り返り

課題設定

自己調整する方法を使いながら、4つの学習場面を自ら進めていく

各学習過程における、「自己調整する方法」の例



方法の習得までの段階



正しく方法を知り、
方法を思い出し（他者の力や、自分で）ながら
方法を使う経験を繰り返すことで
方法の習得を目指す

単元・題材の目標

QRコード



本校
研究概要図

達成意欲を高める
目標共有の工夫

方法の習得の段階に合わせた手立て

認知段階

方法の具体、手順やよさの確認、モデリング、モニターで提示 など

想起段階（他者）

「どうすればよかったかな？」等の問いかけ、方法を使っている他者への注目などを促す など

想起段階（自己）

直接的な指導は控え、環境（掲示物等）のみ提示 など

方法の習得



方法を使いやすくする手立て



つまづきの予測→それを解消する
「場の設定」や「教具の工夫」

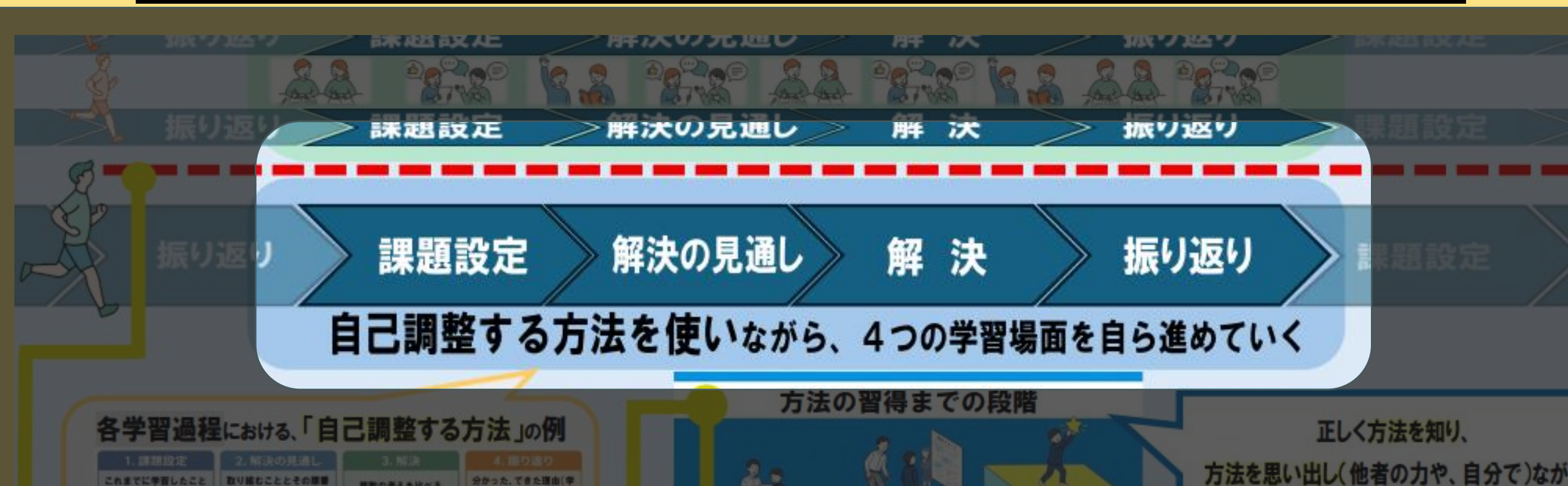
方法のよさを感じられるようにする手立て



過程と成果をセットで捉えられるようにする

①自己調整学習って何？

本校の研究では、



自ら、この学習過程を進める

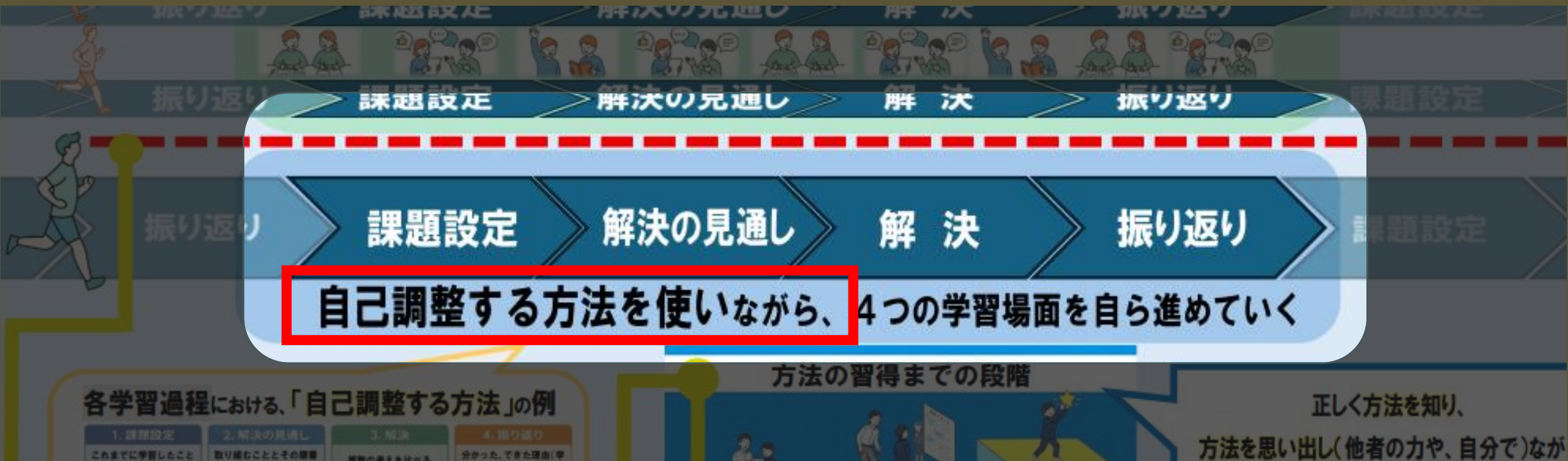
①自己調整学習って何？

子供に任せれば自己調整？



①自己調整学習って何？ 「子供に任せることが自己調整なの？」

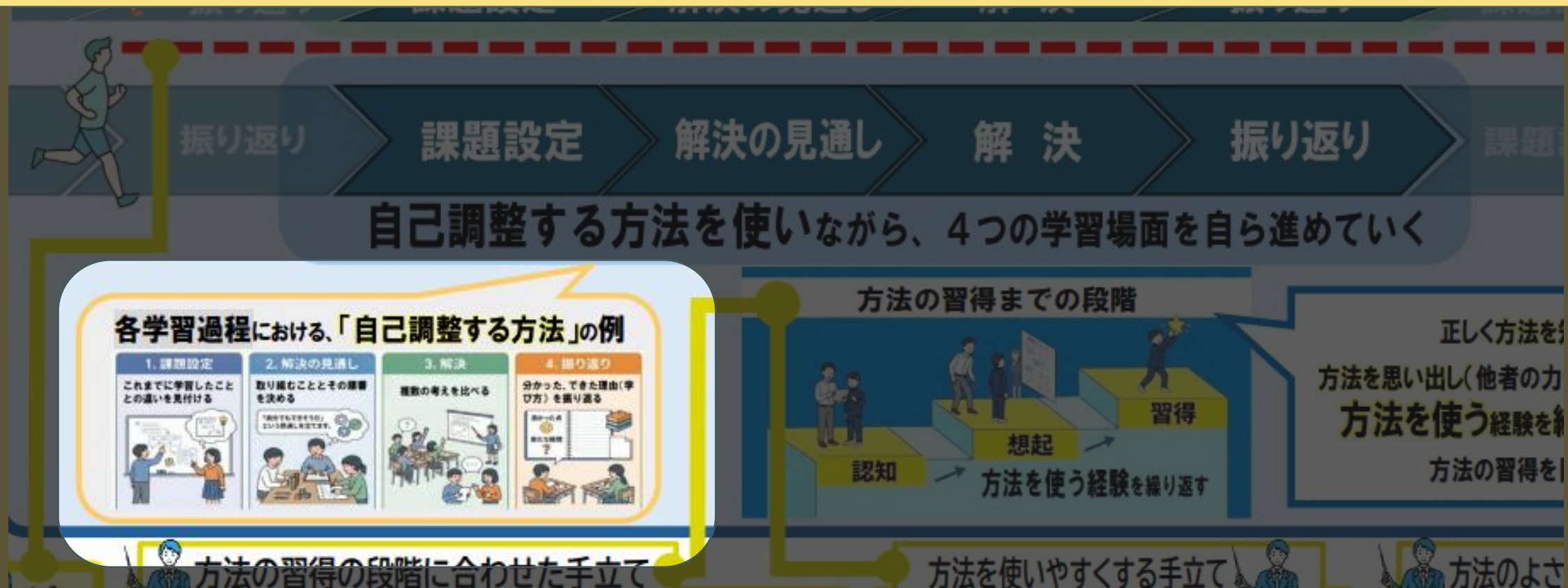
本校の研究では、



自ら、この学習過程を進める

①自己調整学習って何？

本校の研究では、



子供が「自己調整する方法」を習得することを目指す 1/7

子供が「自己調整する方法」を習得することを目指す



学習過程 の場面	自己調整する方法	自己調整する方法のよさ
課題設定	・明らかにしたことの見方や条件を変える ・これまでに学習したこととの違いを見付ける ・目標と今の自分を比べ、必要性の高いものを選ぶ	・新たな問題が見付かる ・取り組むべき課題を明らかにできる
解決の 見通し	・取り組むこととその順番を決める ・これまでに学習したことから使えそうなものを選ぶ	・課題解決に必要なことがはっきりする
解決	・複数の(いろいろな)やり方で試す ・複数の(いろいろな)考えを比べる ・今の考えや、やり方でよいかを確かめる	・自分の考えが広がる ・よりよい考えが見付かる
振り返り	・前の自分と比べる ・分かった、できた理由(学び方)を振り返る ・生活や次の学習に生かせそうなことを考える	・自分の成長がはっきりする ・これから取り組みたい課題や学び方がはっきりする

じぶんたちでまなびをすすめよう

みんなが めあてを たっせいできるように、
じぶんに できることを ぜんりよくで！

・みあう
・ききあう
・はなしあう



めあてを きめる	みとおしを もつ	かいけつ する	ふりかえる
 まえにべんきょうした こととの ちがいをみつける	 おなじように つかえそうなことを かんがえる	 いろいろな かんがえをくらべる	 まえのじぶんと くらべる
 ごうるにむけて ひつようなことを えらぶ	 とりくむことと じゅんばんをきめる	 いろいろな やりかたをためす	 わかった、できた りゆうをふりかえる
 わかったことの じょうけんをかえる		 いまのかんがえて よいかをたしかめる	 せいかつやべんきょうで つかえそうなことを かんがえる

子供たちとも共有

Q：これまでの授業で見られた、 子供が「自己調整する方法」を使っていた授業、 もしくは意図的に使えるようにした授業

学習過程 の場面	自己調整する方法
課題設定	①明らかにしたことの見方や条件を変える ②これまでに学習したこととの違いを見付ける ③目標と今の自分を比べ、必要性の高いものを選ぶ
解決の 見通し	④取り組むこととその順番を決める ⑤これまでに学習したことから使えそうなものを選ぶ
解決	⑥複数の(いろいろな)やり方で試す ⑦複数の(いろいろな)考えを比べる ⑧今の考えや、やり方でよいかを確かめる
振り返り	⑨前の自分と比べる ⑩分かった、できた理由(学び方)を振り返る ⑪生活や次の学習に生かせそうなことを考える

何番の方法を
使っている姿が、
どんな授業の時
に見られたか

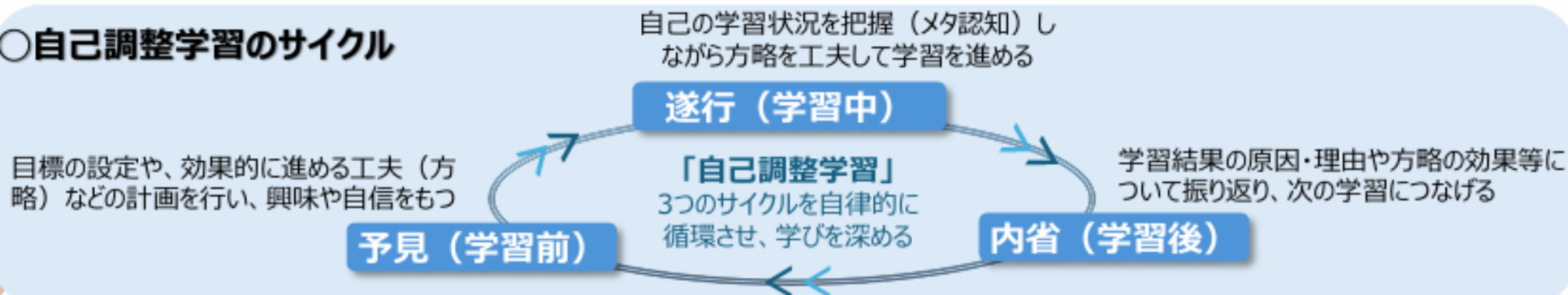
オンラインの方は、
ぜひチャットに
入力して
教えてください♪

①自己調整学習って何？

参考資料①

◆自己調整学習のサイクルや、それを促進する要素等に関する研究上の知見

○自己調整学習のサイクル



(Zimmerman&Schunk(2001))を基に作成

○自己調整学習の効果高める方略の例

参考資料⑧参照

動機づけ方略

質の高い学習を開始・継続することができるよう、自らの動機づけ（モチベーション）や感情を整える方略

学習方略

学習内容をよりよく理解し、定着させることができるよう学習中の情報処理の方法等を工夫する方略

参考資料⑨参照

メタ認知的方略

学習方略がうまく働きよりよい学習成果に結びつくよう、自身の学習過程の計画・把握・調整・振り返り等を適切に行う方略

(Usher&Schunk(2018))を基に作成

子供達の方略の工夫・発揮を支える

文部科学省、教育課程部会総則・評価特別部会 資料 1 - 1 『個に応じた学習過程の充実について』（2025）の一部

本日の流れ

- ① 自己調整学習って何？
- ② 自己調整を進めるには、
教師は何をすればいいの？
- ③ 自己調整学習って一人で進める学習なの？
- ④ Q&A

目指す「共に学びを進め合う子供」の姿のイメージ



達成意欲を高める
目標共有の工夫

② 自己調整を進めるには、 教師は何をすればいいの？

達成意欲を高める
目標共有の工夫



自己調整する方法の
「習得の段階」に
合わせた手立て



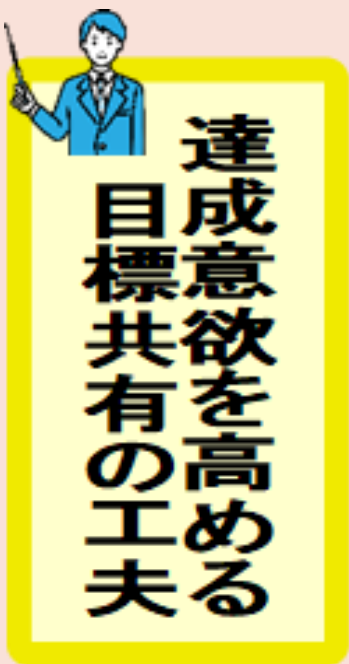
自己調整する方法を
使いやすくする手立て



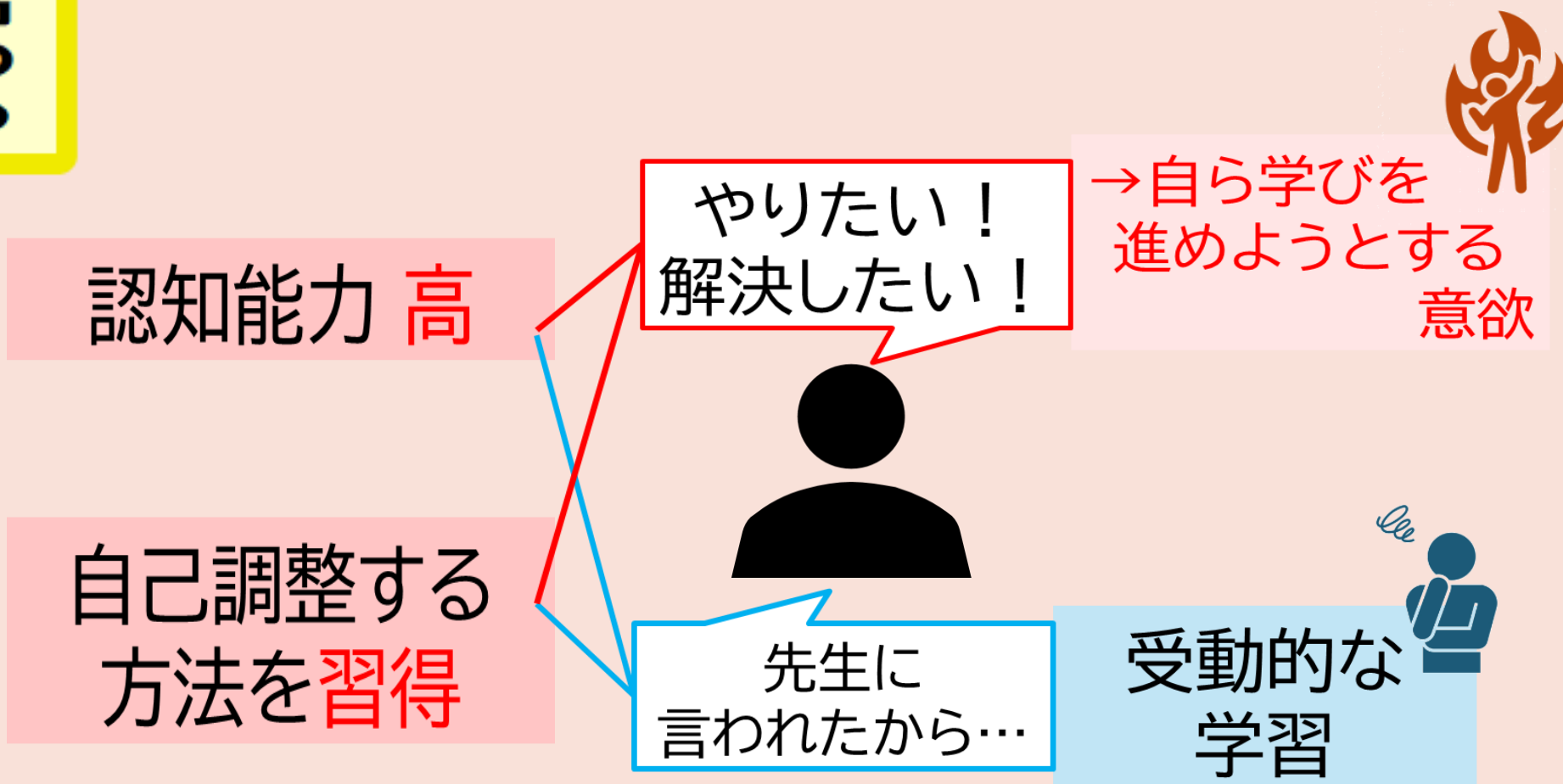
自己調整する方法の
よさを感じられるように
する手立て



達成意欲を高める単元・題材の 目標共有の工夫



→達成意欲を高める、
効果的な目標共有を考える



1.学習指導要領改訂の大きな方向性とは？

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方



自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成

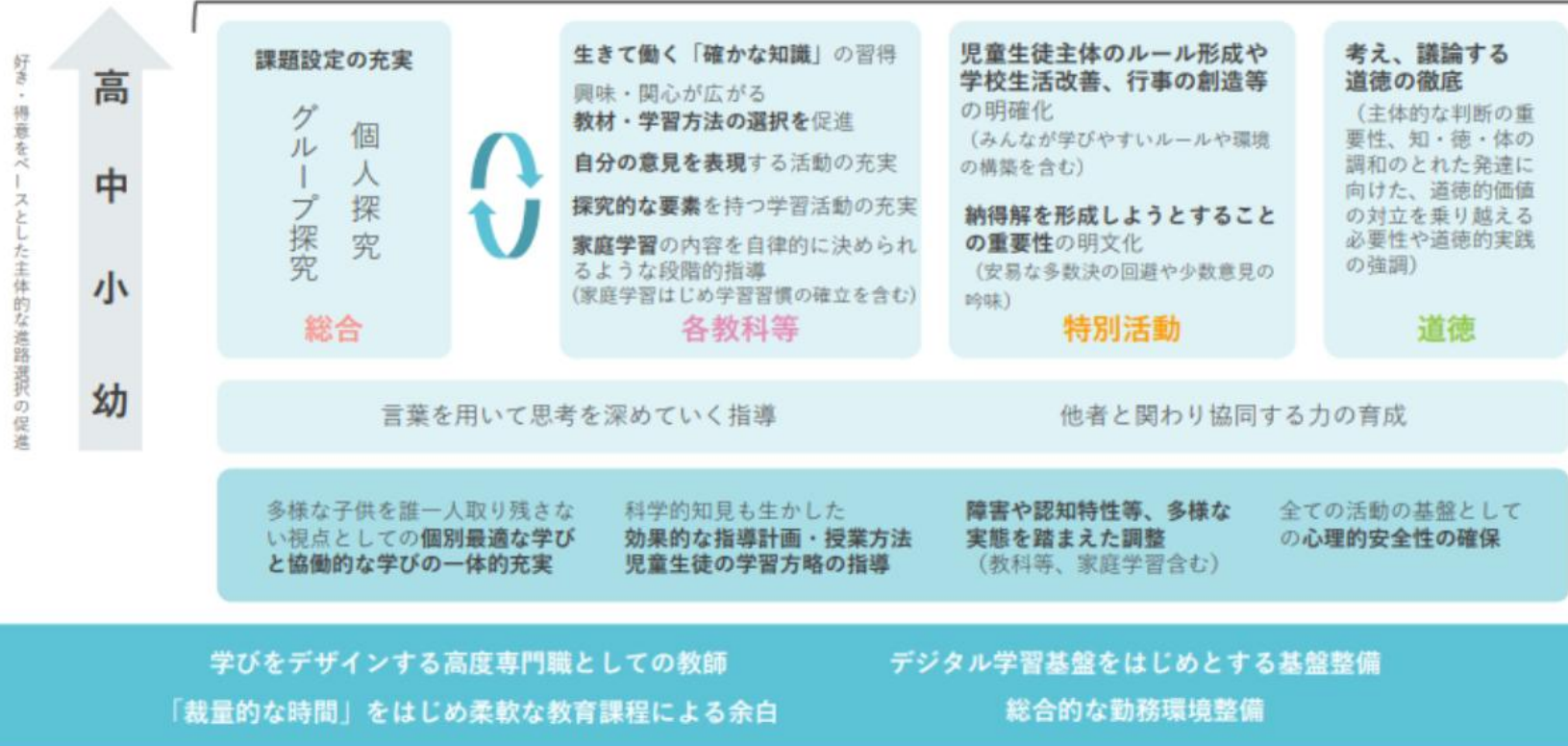


「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)



当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】



※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

第6学年 家庭科

いためる調理で朝の元気スイッチON ～できることを増やしてクッキング～



学習内容と他の単元や題材、他教科、
実生活とのつながりを意識できるようにする

必要感

朝に元気スイッチが入る野菜いためを作ろう

第5学年 社会科

買い負け!回転寿司から魚が消える未来!? ~これからの食料確保~



お寿司屋さんだとこんなに高いんだ!
手軽に食べられる回転寿司ってすごい!



昔はもっと安かったんだ。
どうして、こんなに寿司の値段が
上がったのか調べてみたいな。

既存の知識や経験と新たに学ぶ内容との
差異が明らかになるようにする

興味
関心

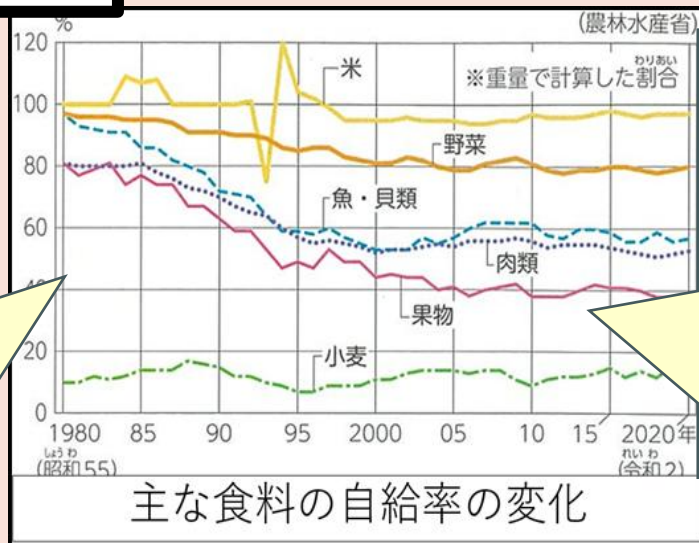
なぜ、回転寿司の値段が上がったのだろう

第5学年 社会科

買い負け!回転寿司から魚が消える未来!? ~これからの食料確保~

水産物の確保は輸入に頼っているんだね

このまま、輸入に頼っていたら水産物が食べられなくなる日が来るかも。
水産物以外はどうなっているのかな。



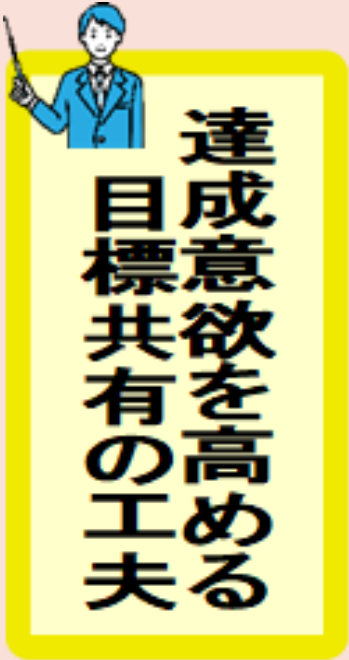
このままいろいろな物が食べられなくなるなんていやだな。
何かできることはないかな。
どんな取組があるか調べてみよう。

必要感

明らかになったことを基に、活動や内容の
さらなる発展の可能性を共有する

食料を確保するために、どのような取組をしていけばよいのだろうか

達成意欲を高める目標共有のポイント



興味
関心

必要感

- ・目的意識・相手意識を明確にもたせた活動を設定する
- ・活動内容や伝える対象等を自分で選べるようにする
- ・目標となるモデルと自分を比較できるようにする
- ・既有的知識や経験と新たに学ぶ内容との
差異が明らかになるようにする
- ・学習内容と他の単元や題材、他教科、実生活との
つながりを意識できるようにする
- ・明らかになったことを基に、活動や内容の
さらなる発展の可能性を共有する

達成意欲を高める目標共有のポイント

・目的意識・相手意識を明確にもたせた活動を設定する	第4学年 国語科 岡根	第5学年 体育科 山口	第3学年 国語科 小出
・活動内容や伝える対象等を自分で選べるようにする			
・目標となるモデルと自分を比較できるようにする	第3学年 国語科 小出		
・既有の知識や経験と新たに学ぶ内容との 差異が明らかになるようにする	第1学年 算数科 井下 第6学年 家庭科 阿部	第2学年 国語科 石田	第6学年 理科 増田
・学習内容と他の単元や題材、他教科、実生活との つながりを意識できるようにする	第2学年 生活科 河口 第6学年 社会科 半澤	第4学年 社会科 吉原 第6学年 理科 増田	第6学年 算数科 好井
・明らかになったことを基に、活動や内容の さらなる発展の可能性を共有する	第1学年 図画工作科 平井 第6学年 算数科 好井	第2学年 音楽科 高口	第4学年 国語科 岡根



3 達成意欲を高める目標共有の工夫 ①・④時

①時では、1年時既習曲である鑑賞曲『おどるこねこ』を聴き、体の動きを伴った活動を行って楽しい曲だと捉えたことや、曲の途中で動きが変わったことから「変化」と「反復」という音楽のもとを見つけたことを振り返る。曲を聴いたときの感じやその曲の面白さは「音楽のもと」によるものだと捉えるようにする。そして、「他の曲にはどんな面白さがあって、音楽のもとがあるのか見付けたい」と意欲を高め、「音楽探偵になって音楽のもとを見付けて楽しもう」と題材の目標を設定する。そこで、鑑賞『天国と地獄』『かめ』『山の魔王の宮殿にて』『キャンディマン』、歌唱『山びこごっこ』『かくれんぼ』『小さなはたけ』の7曲を学習することを提示し、それぞれに音楽のものの何が使われているかを見付けることを共通理解する。④時では、「これまでに見付けたことを自分たちで歌って表すことができるだろうか」と問いかけ、「曲の面白ポイントを生かして歌おう」と目標を再設定する。

4 題材計画と方法の習得の段階に合わせた手立て（本時 3/6）

次	題材計画	方法の習得の段階に合わせた手立て
一	① 『天国と地獄』と『かめ』の音楽のもとを見付けて楽しもう 鑑賞曲『おどるこねこ』を聴き、音楽に合わせて体の動きを伴った活動をしたことで楽しく「変化」と「反復」の音楽のもとを捉えたことを振り返る。そして、本題材の目標を設定し、題材の計画を立てた後、『天国と地獄』と『かめ』の比較鑑賞をする。速度変化アプリを用いて、2曲の速度を変化して鑑賞することで、どちらも同じ旋律だが「速度」が大きく変化したことを体感する。題材を通して、体の動きを伴った活動を取り入れながら曲を聴き、面白ポイントと音楽のもとを捉える。	【認知段階】 ①時に、「いろいろな考えを比べる」という学習の仕方を教示する。目標達成に向けて使えそうな音楽のものは題材を通して「強弱」「速度」「音色」「変化」「反復」「呼びかけとこたえ」であることを共有し、繰り返し曲を聴き、どの音楽のものが使われているかを確認する。また、方法を使うことで、いろいろな音楽のものと特徴を捉えながら試行錯誤し、より曲の面白さが見付かるというよさを共有している。
二	② 『山の魔王の宮殿にて』の音楽のもとを見付けて楽しもう 『山の魔王の宮殿にて』を聴き、①時と違って「速度」と「強弱」が同時に少しずつ変化したことを捉え、曲の面白ポイントを感じる。 ③ 『キャンディマン』の音楽のもとを見付けて楽しもう 鑑賞曲『キャンディマン』を聴き、どんな曲だったか大まかな曲の感じを交流した後、部分の確認をする。「呼びかけ役」と「答え役」に分かれて立ったり座ったりする動きを伴った活動や曲が「変化」したところで手を挙げるなどの活動を通して、「呼びかけとこたえ」「変化」「反復」「音色」の音楽のもとを捉え、曲全体の面白ポイントを感じる。	【想起段階】 「曲の面白ポイントを見付けるためにはどうすればよかったかな」と問いかけることで、方法を想起できるようにする。また、方法を想起しづらい子供に対しては、掲示物を確認したり、「音楽のものは一つだったかな」と声掛けをしたり、方法を使っている子供に注目するように促したりすることで方法を想起し、使うことができるようにする。
	④ 『山びこごっこ』の音楽のもとを見付けて歌おう 山びこの言葉の意味を知り、情景を思い浮かべ、言う言葉と返ってくる言葉の強さを確認することで「強弱」を捉える。そして、強弱の工夫をしながら呼びかけたりこたえたりする動きをしながら歌う。 ⑤ 『かくれんぼ』の音楽のもとを見付けて歌おう かくれんぼの情景を思い浮かべる。「呼びかけとこたえ」あることを捉えていき、かくれんぼの様子から「強弱」の工夫ができることに気付いていく。体の動きを伴った活動を通して、実際の動きと強弱の工夫が合っているかを試行錯誤していく。	【方法の掲示物】
	⑥ 『小さなはたけ』の音楽のもとを見付けて歌おう 音楽のものとの中から「強弱」が関わることに気付くとともに、それが歌詞からもたらされたものだということを確認していく。また、体の動きを伴った活動から、声の出し方を変えたことで「音色」についても捉える。題材のまとめとして、7曲の中から一番の面白ポイントを理由と合わせて交流し、これからの歌唱や鑑賞への意欲をもつ。	

3 達成意欲を高める目標共有の工夫 ①・④時

①時では、1年時既習曲である鑑賞曲『おどるこねこ』を聴き、体の動きを伴った活動を行って楽しい曲だと捉えたことや、曲の途中で動きが変わったことから「変化」と「反復」という音楽のもとを見つけたことを振り返る。曲を聴いたときの感じやその曲の面白さは「音楽のもと」によるものだと捉えるようにする。そして、「他の曲にはどんな面白さがあって、音楽のもとがあるのか見付けたい」と意欲を高め、「音楽探偵になって音楽のもとを見付けて楽しもう」と題材の目標を設定する。そこで、鑑賞『天国と地獄』『かめ』『山の魔王の宮殿にて』『キャンディマン』、歌唱『山びこごっこ』『かくれんぼ』『小さなはたけ』の7曲を学習することを提示し、それぞれに音楽のものの何が使われているかを見付けることを共通理解する。④時では、「これまでに見付けたことを自分たちで歌って表すことができるだろうか」と問いかけ、「曲の面白ポイントを生かして歌おう」と目標を再設定する。

方法の習得の段階に合わせた手立て

学習過程 の場面	自己調整する方法
課題設定	・明らかにしたことの見方や条件を変える ・これまでに学習したこととの違いを見付ける ・目標と今の自分を比べ、必要性の高いものを選ぶ
解決の 見通し	・取り組むこととその順番を決める ・これまでに学習したことから使えそうなものを選ぶ
解決	・複数の(いろいろな)やり方で試す ・複数の(いろいろな)考えを比べる ・今の考えや、やり方でよいかを確かめる
振り返り	・前の自分と比べる ・分かった、できた理由(学び方)を振り返る ・生活や次の学習に生かせそうなことを考える



方法の習得の段階に合わせた手立て

認知段階

方法の具体、手順やよさの確認、モデリング、モニターで提示 など

想起段階(他者)

「どうすればよかったかな？」等の問いかけ、方法を使えている他者への注目を促す など

想起段階(自己)

直接的な指導は控え、環境(掲示物等)のみ残す など

方法の習得へ



教師の手立てを徐々に変えていく

認知段階



数が多いのに、
高さが低いよ…
どうしよう…



上手くいかなかったときには、
いろいろなやり方を
試すといいよ！



いろいろなやり方を
試したから
いい考えが
見つかったね！



間を空けて横を
そろえたらどうかな？
やってみよう！

認知段階



方法の手順や、
方法を使うよさを
モニター等に
掲示したり、
実際に一緒に方法を使ったりする

想起段階(他者)



方法やその手順を
想起できる
問いかけ

方法を使っている
友達の姿への
注目を促す

想起段階(自己)

じぶんたちでまなびをすすめよう

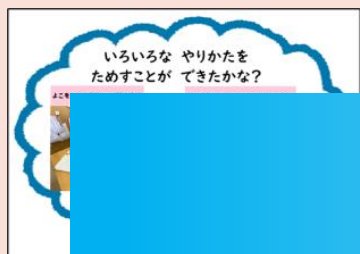
**みんなが めあてを たっせいできるように、
じぶんに できることを ぜんりよくで!**

- ・みあう
- ・ききあう
- ・はなしあう

めあてをきめる	みとおしをもつ	かいけつする	ふりかえる
まえにべんきょうしたことと ちがいをみつける	おなじように つかえそうなことを かんがえる	いろいろな かんがえをくらべる	まえのじぶんと くらべる
ごうにひつようなことを えらぶ	とりくむことと じゅんばんをきめる	いろいろな やりかたをためす	わかった、できた りゆうをふりかえる
わかったことの じょうけんをかえる		いまのかんがえて よいかをたしかめる	せいかつやべんきょうで つかえそうなことを かんがえる

方法やそのよさ、
手順について
教室に掲示する

認知段階



想起段階(他者)



想起段階(自己)

じぶんたちでまなびをすすめよう

みんなが めあてを たっせいできるように、 じぶんに できることを ぜんりよくで!

- ・みあう
- ・ききあう
- ・はなしあう

めあてを きめる	みとおしを もつ	かいけつ する	ふりかえる
まえにべんきょうした ことと の ちがいをみつける	おなじように つかえそうなことを かんがえる	いろいろな かんがえをくらべる	まえのじぶんと くらべる
ごうるにおいて 7Aつようなことを	とりくむことと じゅんげんをきめる	いろいろな やりかたをためす	わかった、できた りゆうをふりかえる
		いまのかんがえて よいかをたしかめる	せいめつやべんきょうで つかえそうなことを かんがえる

教師の手立てを 徐々に変えていく

掲示したり、
実際に一緒に方法を
使ったりする

方法を使えている
友達の姿への
注目を促す

そのよさ、
手順について
教室に掲示する

方法を使いやすくする手立て

学習過程 の場面	自己調整する方法
課題設定	・明らかにしたことの見方や条件を変える ・これまでに学習したこととの違いを見付ける ・目標と今の自分を比べ、必要性の高いものを選ぶ
解決の 見通し	・取り組むこととその順番を決める ・これまでに学習したことから使えそうなものを選ぶ
解決	・複数の(いろいろな)やり方で試す ・複数の(いろいろな)考えを比べる ・今の考えや、やり方でよいかを確かめる
振り返り	・前の自分と比べる ・分かった、できた理由(学び方)を振り返る ・生活や次の学習に生かせそうなことを考える

方法を使いやすくする手立て



つまずきの予測→それを解消する
「場の設定」や「教具の工夫」

方法を使いやすくする手立て



つまずきの予測→それを解消する
「場の設定」や「教具の工夫」

第6学年 体育科 みんなで跳び越えろ、過去の自分 ～走り高跳び～

習得を目指した「課題を設定する」方法
「理想の動きと比べて、できていないところを見付ける」



リズムのよい助走が
できるようになろう

空中でしっかり足を
上げられるようになろう

方法を使いやすくする手立て



つまずきの予測→それを解消する
「場の設定」や「教具の工夫」

第6学年 体育科 みんなで跳び越えろ、過去の自分 ～走り高跳び～

習得を目指した「課題を設定する」方法
「理想の動きと比べて、できていないところを見付ける」

理想の動きの具体が
捉えられない

⇒理想の動きの図示
⇒モニターで手本の
動きを繰り返す
⇒手元の端末でも

消えていく自分の動きと
理想の動きを比べられない

⇒学習用端末で
動きを記録



自分の動きの
問題点が何か
見付けられない

⇒同じグループで
役割分担



学習過程 の場面	自己調整する方法
課題設定	・明らかにしたことの見方や条件を変える ・これまでに学習したこととの違いを見付ける ・目標と今の自分を比べ、必要性の高いものを選ぶ
解決の 見通し	・取り組むこととその順番を決める ・これまでに学習したことから使えそうなものを選ぶ
解決	・複数の(いろいろな)やり方で試す ・複数の(いろいろな)考えを比べる ・今の考えや、やり方でよいかを確かめる
振り返り	・前の自分と比べる ・分かった、できた理由(学び方)を振り返る ・生活や次の学習に生かせそうなことを考える

方法を使いやすくする手立て



つまずきの予測→それを解消する
「場の設定」や「教具の工夫」

第1学年 図画工作科

こすり出し模様の大変身!こすってうまれるわたしの世界!
～うつしたかたちから～

習得を目指した「解決する」方法
「いろいろなやり方を試す」



こすりだしだし方

切り方

組み合わせ方

方法を使いやすくする手立て



つまずきの予測→それを解消する
「場の設定」や「教具の工夫」

第1学年 図画工作科

こすり出し模様の大変身!こすってうまれるわたしの世界!
～うつしたかたちから～

習得を目指した「解決する」方法
「いろいろなやり方を試す」

どのようなやり方があるか
分かっていない

自分がどの取り組み方を
したか分からない

いろいろなことを試すことの
できる場がない

見通し場面で教師がモデルを示したり、いろいろなやり方を試している子供の作品を全体に紹介したりする。



いろいろなやり方を試している子供に対して、教師や支援の先生が、価値づけたり、どうなったかを聞き出したりする。

いろいろなことを試すことのできる場を設定する。



方法のよさを感じられるようにする手立て



方法のよさを感じられるようにする手立て



学習過程 の場面	自己調整する方法
課題設定	・明らかにしたことの見方や条件を変える ・これまでに学習したこととの違いを見付ける ・目標と今の自分を比べ、必要性の高いものを選ぶ
解決の 見通し	・取り組むこととその順番を決める ・これまでに学習したことから使えそうなものを選ぶ
解決	・複数の(いろいろな)やり方で試す ・複数の(いろいろな)考えを比べる ・今の考えや、やり方でよいかを確かめる
振り返り	・前の自分と比べる ・分かった、できた理由(学び方)を振り返る ・生活や次の学習に生かせそうなことを考える

方法のよさを感じられるようにする手立て



過程と成果をセットで捉えられるようにする

振り返り

「生活に生かせそうなことを考える」

- ① 今日分かったことは何かな？
「今日は～が分かったよ！」
- ② 生活とのつながりはないかな？
火トをチェック！



火をより安全に効率よく使える！
火に関する道具の仕組みが分かる！

生活が豊かに！

みんなの生活の中の火ト



第6学年 理科
だから燃える！だから消える！
～物の燃え方と空気～

習得を目指した「振り返る」方法
「生活に生かせそうなことを考える」



今日の学びから、生活に生かせそうなことは？（役立ちポイント、便利ポイント）

今回の授業で酸素が20%以下になると消える、火が燃えたり、消えたりするのに関係しているのは酸素だということが分かりました。消化器で火が消えるのは消火器の粉で酸素の出入り口を塞いで、酸素が減るからだということ、バーベキューコンロの近くでうちわを仰ぐと火が燃えやすいのは酸素が火に送られてくるからだということが分かりました。

火をより安全に効率よく使える！
火に関する道具の仕組みが分かる！

生活が豊かに！

方法のよさを感じられるようにする手立て



過程と成果をセットで捉えられるようにする

できたりゆうのかん点

- ①自分のことをしっかり考えたから
- ②あい手に伝わるかなと考えたから
- ③自分の考えを見直したから
- ④いいなと思う友だちを
さんこうにしたから

学習の取り組み
方を振り返りの
項目として設定



自分がどんなことを
試したかを友達と
インタビュー



実験 結果 考察	自分のやくわりをはたした。	☒
	他のはんの結果とくらべた。	☐
	おおくの結果をさんこうにして分かったことを考えることができた。	☐

チェックリスト
形式で

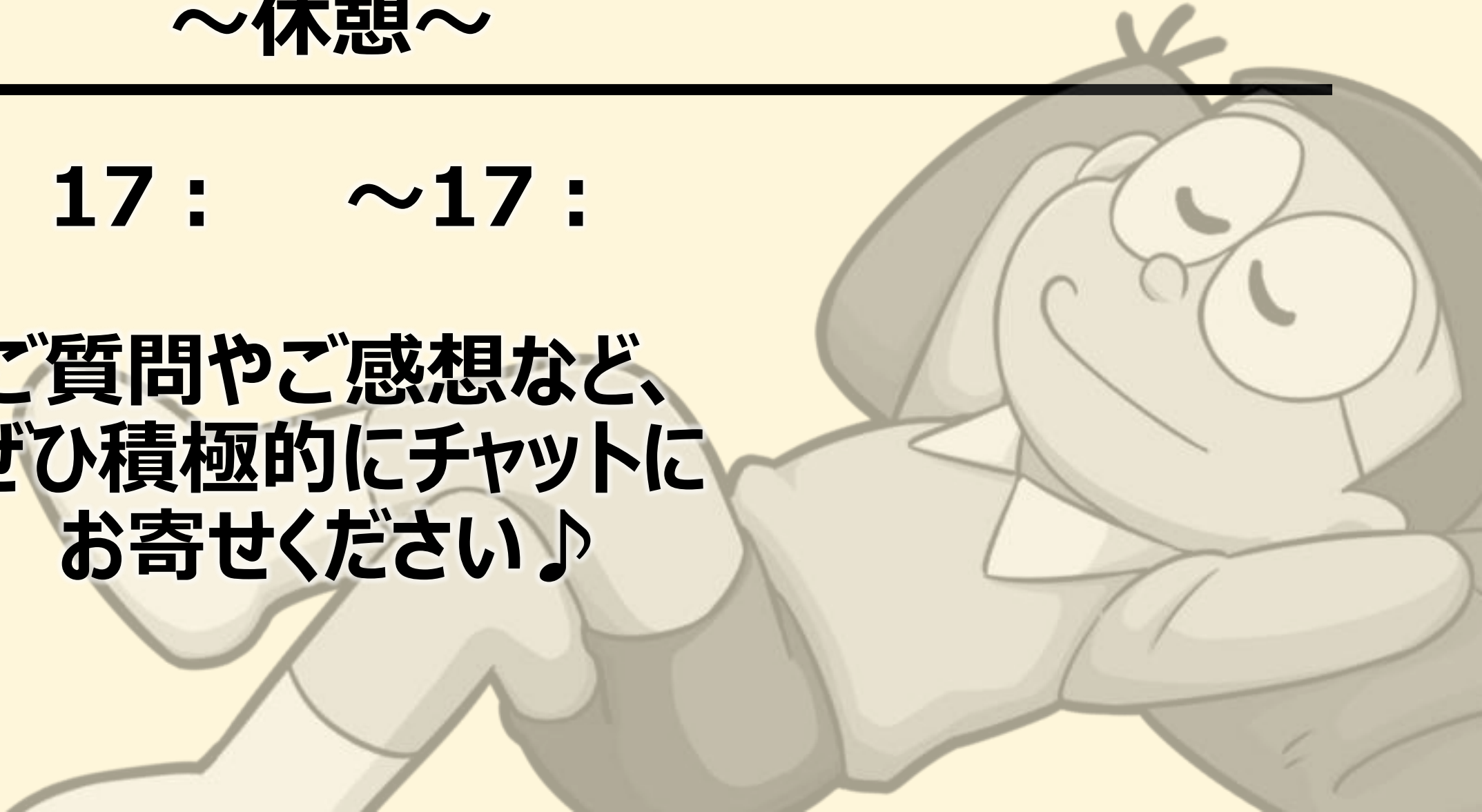


教師による
価値付け
(全体・個)

～休憩～

17： ～17：

ご質問や感想など、
ぜひ積極的にチャットに
お寄せください♪



本日の流れ

- ① 自己調整学習って何？
- ② 自己調整を進めるには、
教師は何をすればいいの？
- ③ 自己調整学習って一人で進める学習なの？
- ④ Q&A



共調整
を促す
手立て

他者と関わる
必要感を生む



互いの考えを
可視化する



関わりやすい
環境を整える



関わるよさを
感じられるようにする



ら、共に学びを進めていく（共調整）

見通し

解決

振り返り

課題設定

見通し

解決

振り返り

課題設定

単元・



共調整とは・・・

学習者の間で自己調整が一時的に整合し、心理的な調整活動があたかも融合しあうような状態。

「あなた」がよりよく学べるように、求めに応じ
て助けたり、励ましあったりしつつ、学びを深め
ていくこと。



本校で設定している共調整の姿

観察/被観察	援助要請/援助提供	評価/被評価
・友達の考えや行動を見る(観察) ・自分の考えや行動を見せる(被観察)	・困ったときに、助けを求める(援助要請) ・困っている人に助言する(援助提供)	・友達の考えや行動に反応したり、それらの理由を尋ねたりする(評価) ・自分の考えや行動に対して、反応を求める(被評価)

③自己調整って一人で進める学習なの？

個の学びを大事にしつつ、他者と協働的に学ぶことも自己調整の一部。

▶ 自己調整

▶ 共調整

▶ 社会的に共有された調整

なぜ共調整？

- 個別最適＋協働の一体的充実
- 協働（協同）学習の効果の蓄積
- 学校としての意義

共調整を促す

5年体育 ボール運動ベースボール型

指導案・実践
報告はこちら→



他者に関わる必要感を生む活動を設定する

チームで課題設定する



西組と楽しくクラスマッチをして勝つ!

ボールをやってみる

互いの課題と解決の見通し等を伝える

★課題を設定すると
目標と今のチ
必西性の高

チーム同士でアドバイス



ッキリ
くなる



他者と関わる必要感を生む活動を設定する

学習課題： $2/5 \times 4/3$ で計算できる理由を説明しよう

ジグソー型学習

役割（数直線図、割る数を整数）の明確化 → 関わる必要感を



数直線



割る数を整数

共調整を促す

4年社会 水はどこから

指導案・実践
報告はこちら→



学習過程の各場面における、それぞれの考えを可視化する

根拠になった資料にネーム磁石を貼る



共調整を促す

4年国語 走れ

指導案・実践
報告はこちら→



学習過程の各場面における、それぞれの考えを可視化する

拡大した本文上に
名前磁石を貼る



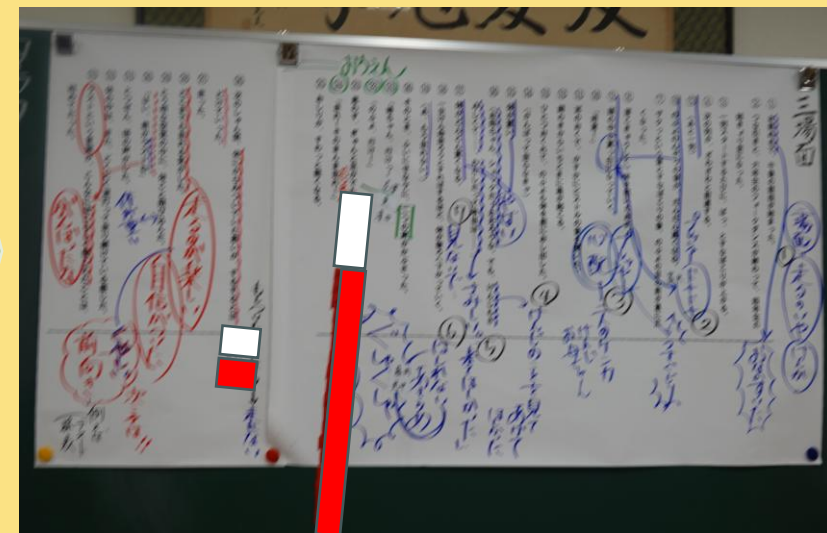
同じ考え



違う考え



考えが変わった人…**赤磁石**
→他者と関わるよさ○



共調整を促す

2 年生活 大きくそだてわたしの野さい

指導案・実践
報告はこちら→



他者と関わりやすい環境を整える



同じ野菜を選んだ子供が
関わりやすい環境設定







他者と関わることのよさを感じられるようにする

解決



振り返り



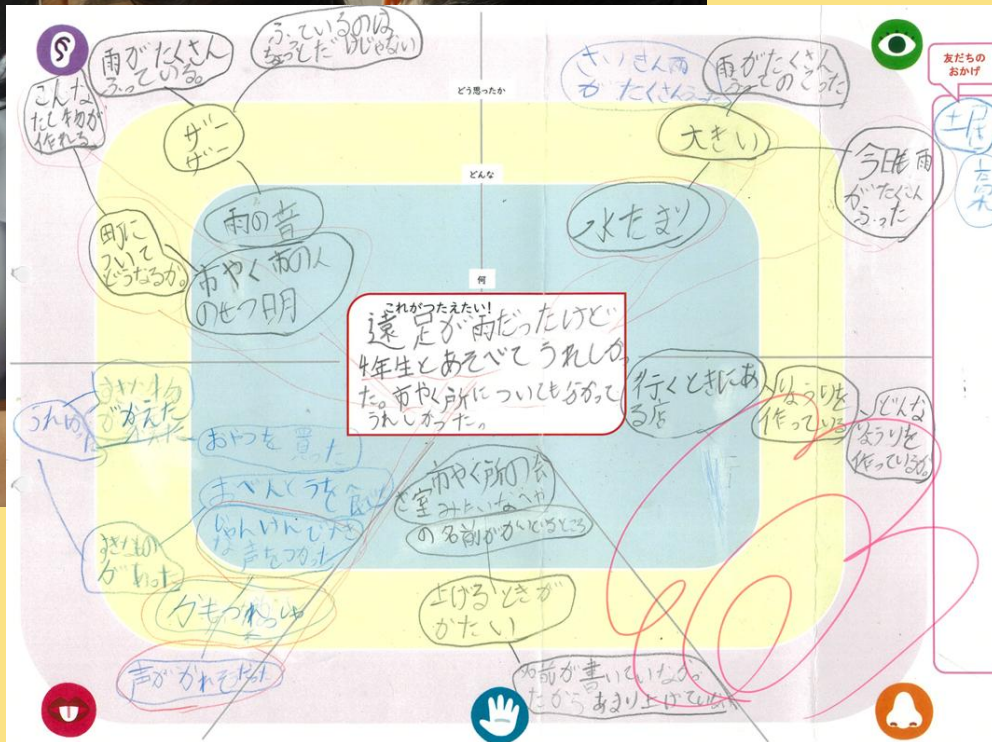
友達と関わって
学んでいる様子を
写真を使って
具体的に伝える



他者と関わることのよさを感じられるようにする

**友達との関わりで新しく増えた言葉は色を変えて、
ワークシートに書き足すようにする**

「友達のおかげ」「友達のために」の項目



6月9(火)		6月8(月)		6月5日(金)	
友だちのために…	友だちのおかげで…	友だちのために…	友だちのおかげで…	友だちのために…	友だちのおかげで…
一つアイディアを出した。	一つアイディアを出すアイディア	一つアイディアを出すアイディア	一つアイディアを出すアイディア	一つアイディアを出すアイディア	一つアイディアを出すアイディア
○○△	○○△	○○△	○○△	○○△	○○△



目的≠対話

- ・ 他者と関わる必要感を生む活動 決定する
- ・ 学習過程の各場面における それぞれの考えを可視化する

目的＝学びを進める

- ・ 他者と関わることのよさを感じられるようにする

2 学期からやってみる 1 アクション

2 学期からやってみたいことは何ですか？

共に学びを進め合う子供の育成（2年次）

～共調整を促し、自己調整する方法の習得を目指す授業づくり～

目指す子供の姿の実現に向け、黄色枠の手立てを行っています

本研究における子供が「共調整」している姿

観察・被観察

援助要請・提供

評価・被評価

共調整を促す手立て

他者と関わる必要感を生む

互いの考えを可視化する

関わりやすい環境を整える

関わるよさを感じられるようにする

目指す「共に学びを進め合う子供」の姿のイメージ

他者と関わりながら、共に学びを進めていく（共調整）

振り返り

課題設定

解決の見通し

解決

振り返り

課題設定

振り返り

課題設定

解決の見通し

解決

振り返り

課題設定

振り返り

課題設定

解決の見通し

解決

振り返り

課題設定

自己調整する方法を使いながら、4つの学習場面を自ら進めていく

各学習過程における、「自己調整する方法」の例



方法の習得までの段階



正しく方法を知り、
方法を思い出し（他者の力や、自分で）ながら
方法を使う経験を繰り返すことで
方法の習得を目指す

単元・題材の目標

達成意欲を高める
目標共有の工夫

方法の習得の段階に合わせた手立て

認知段階

方法の具体、手順やよさの確認、モデリング、モニターで提示 など

想起段階（他者）

「どうすればよかったかな？」等の問いかけ、方法を促している他者への注目を促す など

想起段階（自己）

直接的な指導は控え、環境（掲示物等）のみ提示 など

方法の習得

教師の手立てを徐々に変えていく

方法を使いやすくする手立て



つまずきの予測→それを解消する
「場の設定」や「教具の工夫」

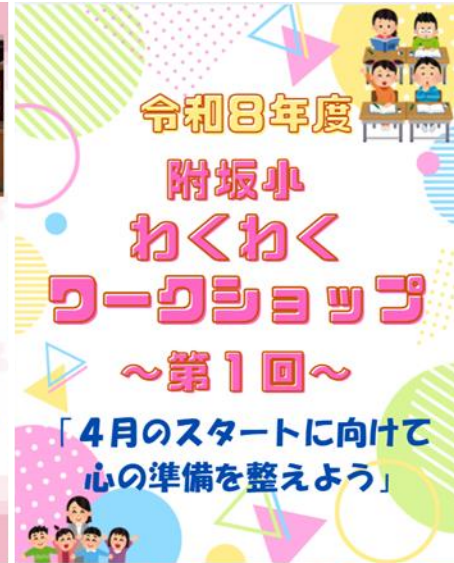
方法のよさを感じられるようにする手立て



過程と成果をセットで捉えられるようにする

Instagramフォローお願いします！

祝！3000人突破！



一次案内 第105回 教育研究発表会
**共に学びを進め合う
子供の育成(2年次)**
～ **共調整** を促し、自己調整する方法
の習得を目指す授業づくり～



↑研究の詳細

トークセッション



香川大学 准教授
岡田 涼先生



桃山学院大学 准教授
木村 明憲先生

R9年
**1月
29日
(金)**

授業実践

国語・社会・算数・理科
生活・音楽・図画工作
家庭・体育・道徳
保健室経営 (実践提案)

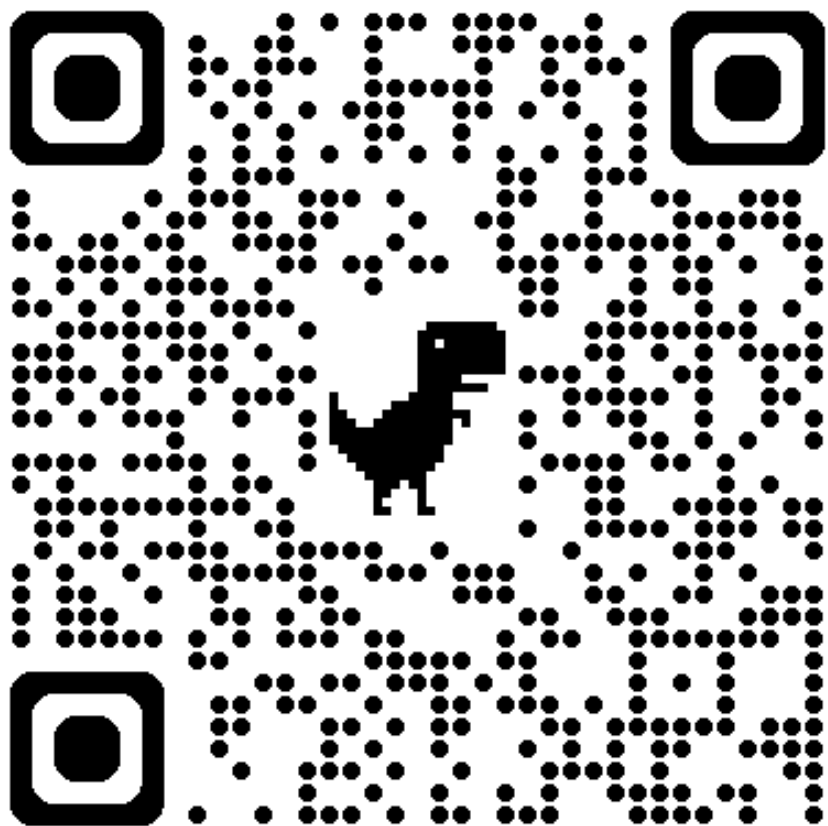
全**16**本



香川大学教育学部附属坂出小学校

附属坂出小学校 教育研究発表会 お知らせ

アンケートのお願い



ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。
アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

こちらから読み取ることができます

